

寄贈品コーナー

準備室・開館後を通じて博物館に寄贈された資料の紹介および、博物館資料に対する啓蒙、収集への協力のよびかけを目的としたコーナー。開館後1月間は、「平塚の文化財」として市内の指定文化財を展示した。その後、寄贈品コーナーとして、下記のように1カ月ごとに資料を展示替えしている。

1976年

—第1回 (5.25~6.22)—「平塚の文化財」	縄文式・弥生式土器、義太夫資料、高札	68点
—第2回 (7.1~30)—寄贈品	シャコ貝 4点、ダルマ木型・製作工程	34点
—第3回 (8.1~29)—寄贈品	背負梯子、鍬・万能、印弔天・ハラガケ	23点
—第4回 (9.1~29)—寄贈品	百万遍数珠、花菓子木型、写真資料	40点
—第5回 (10.1~30)—寄贈品	鳥獸剥製 9点、稻収穫・脱穀・調整用具	10点
—第6回 (11.2~28)—寄贈品	消防用具(竜吐水・桶等)、火鉢・アンカ	26点
—第7回 (12.1~26)—寄贈品	藁製品(蓑・足半・俵等)、お札	34点
1977年		
—第8回 (1.5~30)—寄贈品	シダ植物 10点、婚礼用具(打掛・什器等)	14点

現在、寄贈資料は、民俗資料が多いため、これを中心に展示している。展示の季節や館の行事との関連を考慮に入れ、コーナーを2分ないし、3分し1区画ごとに資料をセット的にまとめて展示している。